

風間サチコ | Sachiko KAZAMA

1972 東京都生まれ
東京都在住
1996 武蔵野美術学園 版画研究科 修了

「現在」起きている現象の根源を「過去」に探り、「未来」に垂れこむ暗雲を予兆させる黒い木版画を中心に制作する。一つの画面に様々なモチーフが盛り込まれ構成された木版画は漫画風でナンセンス、黒一色のみの単色でありながら濃淡を駆使するなど多彩な表現を試み、彫刻刀によるシャープな描線によってきわどいテーマを巧みに表現する。風間は作品のなかで、現代社会や歴史の直視しがたい現実が、時には滑稽でコミカルに見えてしまう場面を捉えようとしている。そこには作家自身が社会の当事者であるよりも、むしろ観察者でありたいという意識が反映されている。作品はフィクションの世界だが、制作に際しては古書研究をするなど独自のリサーチを徹底し、現実や歴史の黒い闇を彫りおこすことで、真実から嘘を抉り出し、嘘から真実を描き出す。

個展

- 2023 「ニュー松島」無人島プロダクション、東京
- 2021 「ディスリンピアン2021」無人島プロダクション、東京
「Tokyo Contemporary Art Award 2019-2021 受賞記念展 風間サチコ 'Magic Mountain」東京都現代美術館
- 2020 「セメントセメタリー」無人島プロダクション、東京
- 2019 「風間サチコ展 ―コンクリート組曲―」黒部市美術館、富山
「『東京計画2019』vol.2 風間サチコ: パベル」gallery αM、東京
- 2018 「予感の帝国」NADiff a/p/a/r/t、東京
「ディスリンピア2680」原爆の図丸木美術館、埼玉
- 2016 「府中市美術館公開制作69 風間サチコ『たゆまぬぼくら』」府中市美術館、東京
「電撃！！ラッダイト学園」無人島プロダクション、東京
- 2015 「残暑お見舞い申し上げます。フロ〜ム無人島（風間サチコ）」無人島プロダクション、東京
- 2014 「プチブル」無人島プロダクション、東京
- 2012 「没落THIRD FIRE」無人島プロダクション、東京
- 2010 「ドジョ戦記：水がヌルくて死にそうです。」GALLERY at lammfromm、東京
「平成博2010」無人島プロダクション、東京
- 2009 「昭和残像伝」無人島プロダクション、東京
- 2007 「満鉄人 VS プリズン・ス・ガモー」無人島プロダクション、東京
「風間サチコ」無人島プロダクション、東京
- 2005 「クリテリオム64：風間サチコ」水戸芸術館現代美術ギャラリー、茨城
「カナリヤガイガーカウンター」マキイマサルファインアーツ、東京
- 2003 「夜と布団とナバーム弾」人形町エキジビットスペース・ヴィジョンズ、東京
「McColoniald」マキイマサルファインアーツ、東京
- 2000 ギャラリー手、東京
- 1999 「新世代への視点'99：楽園」ギャラリー山口、東京
- 1998 ギャラリー山口、東京

主なグループ展

- 2023 「Four Elements 2023 Summer」無人島プロダクション、東京
「MOMATコレクション」東京国立近代美術館、東京
「ワールド・クラスルーム：現代アートの国語・算数・理科・社会」森美術館、東京
- 2022 「Reborn-Art Festival 2021-22 ―利他と流動性―」石巻、宮城
「アートの新時代 2022」高島屋大阪店、大阪
- 2021 「フェミニズムズ」金沢21世紀美術館、石川
- 2020 「日産アートアワード2020 ファイナリストによる新作展」ニッサンパビリオン、神奈川
「Metropolis 2020」日本橋高島屋美術画廊、東京（大阪に巡回）
「Crack Up - Crack Down」ウジャドウスキー城現代美術センター、ワルシャワ、ポーランド
「コレクション―現代日本の美意識」国立国際美術館、大阪
- 2019 「Co/Inspiration in Catastrophes」台北当代芸術館、台北、台湾
「ELLE LOVES ART」KASHIYAMA DAIKANYAMA、東京
「メイド・イン・トーキョー：建築と暮らし 1964/2020」ジャパン・ソサエティー・ギャラリー、ニューヨーク、アメリカ
「Japan Unlimited」frei_raum Q21 exhibition space/MuseumsQuartier Wien、ウィーン、オーストリア
「開館15周年記念 現在地：未来の地図を描くために[1]」金沢21世紀美術館、石川
「第33回リュブリャナグラフィックアートビエンナーレ」International Centre of Graphic Arts、リュブリャナ、スロベニア
「FRIEND OF A FRIEND」ラスター、ワルシャワ、ポーランド
「百年の編み手たち―流動する日本の近現代美術―」東京都現代美術館、東京

- 「移植」無人島プロダクション、東京
- 2018 「創造する伝統 社の中の文化祭—中今茶会—」明治神宮 隔雲亭、東京
「高橋コレクション 顔と抽象— 青春白樺美術館コレクションとともに」青春芸術村内 青春白樺美術館、光の美術館 梅原龍三郎アトリエ、山梨
「TOTALTOPIA」TAV Gallery、東京
- 2017 「The Long Story」クイーンズランド州立近代美術館、ブリスベン、オーストラリア
「ヨコハマトリエンナーレ 2017 島と星座とガラパゴス」横浜美術館、神奈川
「TARO賞20年 20人の鬼子たち」岡本太郎記念館、東京
- 2016 「—ニッポンのスペシャリスト— こけし×アート展」伊勢丹新宿店、東京
「あざみ野コンテンポラリーvol.7『悪い予感のかけらもないさ』」横浜市民ギャラリーあざみ野、神奈川
「光州ビエンナーレ The Eighth Climate (What Does Art Do?)」光州ビエンナーレホール、光州、韓国
「EDITIONS++」無人島プロダクション、東京
- 2015 「18th DOMANI・明日展」国立新美術館、東京
「Surface Tension」White Rainbow、ロンドン、イギリス
「2015 Asian Art Biennial: Artist Making Movement」国立台湾美術館、台中、台湾
「passage 永遠の一日」国際芸術センター青森、青森
「Re-Collections!! 文化庁買上優秀美術作品展」T-Art Gallery、東京
「高橋コレクション展 ミラー・ニューロン」東京オペラシティ アートギャラリー、東京
「Translation Theme Park」Uppsala konstmuseum、ウプサラ、スウェーデン
- 2014 「We can make another future: Japanese art after 1989」クイーンズランド州立近代美術館、ブリスベン、オーストラリア
「Translation Theme Park」Gallery Ping-Pong、Gallery 21、マルメ、スウェーデン
「無人島∞」無人島プロダクション、東京
「魅惑のニッポン木版画」横浜美術館、神奈川
- 2013 「六本木クロッシング2013展:アウト・オブ・ダウト」森美術館、東京
「手塚治虫×石ノ森章太郎 マンガのちから」東京都現代美術館、東京
「青森EARTH 2013: すばらしい新世界_再魔術化するユートピア」青森県立美術館、青森
「MOTコレクション — 残像から」東京都現代美術館、東京
「Edo Pop: The Graphic Impact of Japanese Prints」Japan Society Gallery、ニューヨーク、アメリカ
「PATinKyoto京都版画トリエンナーレ2013」京都市美術館、京都
「ジパング 沸騰する日本の現代アート」高崎市美術館、八戸市美術館、秋田県立近代美術館、群馬、青森、秋田
- 2012 「ジパング II — 沸騰する日本の現代アート」新潟県立万代島美術館、新潟
「Art and Air ~空と飛行機をめぐる、芸術と科学の物語」青森県立美術館、青森
「コレクション」国立国際美術館、大阪
- 2011 「TARO LOVE展 — 岡本太郎と14人の遺伝子」西武渋谷、東京
「OTHER PAINTINGS — NTC EXHIBITION」A/Dギャラリー、東京
「ジパング — 31人の気鋭作家が切り拓く、現代日本のアートシーン。—」日本橋高島屋、東京(大阪、京都に巡回)
- 2010 「コレクション2」国立国際美術館、大阪
「VOCA展2010: 現代美術の展望—新しい平面の作家たち」上野の森美術館、東京
「移動 ~無人島 in 高円寺での最初で最後のグループ展~」無人島プロダクション、東京
- 2009 「どろどろ、どろん 異界をめぐるアジアの現代美術」広島市現代美術館、広島
- 2008 「TARO賞の作家 I」川崎市岡本太郎美術館、神奈川
「東京ナンセンス」SCION Installation L.A.、ロサンゼルス、アメリカ
「ゆかいな木版画 — その柔らかな微笑み」府中市美術館、東京
- 2007 「平成17-18年度 文化庁買上優秀美術作品展」日本芸術院会館、東京
「マキイセクション展」MAKII MASARU FINE ARTS、東京
- 2006 「第9回 岡本太郎記念現代芸術大賞(TARO賞)展」川崎市岡本太郎美術館、神奈川
- 2004 「ART JAM」ギャラリー山口、東京
- 2003 「葉展」藍画廊、東京
「HARUTONARI 4 - Animal Heart - 種としての人間」ギャラリー山口、東京
- 2002 「bit展 6/7 風間サチコ&金田勝一」東京画廊、東京
- 2001 「セゾンアートプログラム アートイング2001」旧牛込原町小学校、東京
「VOCA展2001 現代美術の展望—新しい平面の作家たち」上野の森美術館、東京
- 1994 「パルコ アーバナート#3」渋谷パルコ、東京

受賞歴

- 2019 「第30回(2019年度)タカシマヤ美術賞」公益信託タカシマヤ文化基金
「Tokyo Contemporary Art Award 2019-2021」東京都、トーキョーアーツアンドスペース
(公益財団法人東京 都歴史文化財団 東京都現代美術館)
- 2016 「第8回 創造する伝統賞」公益財団法人 日本文化芸術財団
- 2006 「第9回 岡本太郎記念現代芸術大賞(TARO賞)」優秀賞
- 1994 「パルコ アーバナート#3 奨励賞」山本容子賞



1992 「パルコ GOMESマンガグランプリ'93」岡崎京子賞

パブリックコレクション

国立国際美術館
高松市美術館
東京国立近代美術館
東京都現代美術館
文化庁
森美術館
横浜美術館
クイーンズランド州立近代美術館(オーストラリア)
ニューヨーク近代美術館(アメリカ)
レニーミュージアム(カナダ)